

公開研究会のおしらせ

第14回 被疑者取調べ録画研究会

2013年12月6日(金)午後6時30分—8時30分

京都弁護士会館 (無料・要事前申込)

被疑者取調べの録音・録画制度と記録媒体の使用方法

講師: 安部祥太氏

(日本学術振興会特別研究員、
青山学院大学大学院)



法制審議会で法制化に向けて議論が進められている可視化問題。一部録画か全部録画か、という問題と共に重要なのは、録画された記録の利用法である。公判で再生することについて証拠法上どのように規律すべきか? 若手研究者で、韓国を中心にこのテーマを研究する安部氏を招いて考究したい。

主催: 被疑者取調べ録画研究会

共催: 京都弁護士会

後援: 科研費新学術領域[法と人間科学]「取調録画と裁判員裁判」(代表・指宿信・成城大学教授)

忘年会(有料)
あり。事前に
申込み下さい。



会館へは公共の交通機関でお越し下さい。地下鉄丸太町下車徒歩5分。 問い合わせ・申し込み:
香川大学法学部吉井研究室 087-832-1725

Email: VisualRecord@aol.com



被疑者取調べ録画研究会について

主宰：指宿信（成城大学）

本研究会は、2008年3月に京都弁護士会裁判員制度実施本部（当時）有志が刑事司法関係諸機関の視察調査のためにシドニーを訪問した際にニューサウスウェールズ州警察の取調べ録画システムについてヒアリングを実施したことを契機に、京都弁護士会を会場として始まった。公開研究会への参加者は、弁護士、法学及び心理学の研究者等からなる。当初は日弁連法務研究財団の助成を受けて実施され、2011年からは科研費（新学術領域「法と人間科学」の「裁判員裁判と取調べ録画制度」（可視化班））の助成により運営されている。

以下はこれまでの開催記録である。

第1回 2008年5月28日

「オーストラリアにおける被疑者取調べ、自白そしてビデオ録画」

講師：ジル・ハンター教授（ニュー・サウス・ウェールズ大学、豪州）

第2回 2008年7月23日

「取調べ録画ビデオのインパクトをめぐって」講師：黒沢香教授（東洋大学）

第3回 2008年12月4日

「取調べ一部録画の危険性－セントラル・パーク・ジョガー事件を素材として」

講師：伊藤和子弁護士（東京弁護士会）

第4回 2009年2月26日

「カナダにおける被疑者取調べ録画制度」講師：指宿信教授（立命館大学）

第5回 2009年6月4日

「野田事件における自白テープをめぐって」講師：浜田寿美男教授（奈良女子大学）

第6回 2009年10月1日

「高野山放火事件と被疑者取調べ」講師：後藤貞人弁護士（大阪弁護士会）

第7回 2010年2月19日

「取調べ録画証拠と自白の信用性－佐賀事件に学ぶ」

講師：美奈川成章弁護士（福岡県弁護士会）

第8回 2010年8月26日

「イギリスにおける取調べの可視化」講師：指宿信教授（成城大学）

第9回 2011年1月31日

「足利事件録音テープに学ぶ」

講師：佐藤博史弁護士（第二東京弁護士会、早稲田大学教授）

第10回 2011年12月9日

「可視化問題の現状」講師：小坂井久弁護士（大阪弁護士会）

第11回 2012年7月6日

「大阪東署事件と可視化問題」講師：秋田真志弁護士（大阪弁護士会）

第12回 2012年12月7日

「可視化時代の取調べ技法」講師：高木光太郎教授（青山学院大学）

第13回 2013年6月7日

「取調べ可視化と被疑者への面接法」講師：仲真紀子教授（北海道大学）